

2012年3月9日

🐱🐶 **日テレ** からお知らせ



第33回 NNS アナウンス大賞 決定! **日本テレビ・藤井貴彦アナウンサーが** **テレビ部門大賞受賞!!**



今年で33回目を迎えたNNSアナウンス大賞の授賞式が、3月8日（木）に行われました。NNS各社の中で、昨年1年間、放送全般に渡って工夫を凝らし、豊かな表現で、日本テレビネットワーク全体のパワーアップに貢献したアナウンサーに贈られます。

授賞式には、日本テレビネットワーク各社の約400名のアナウンサーの中からノミネートされた「北海道・東北」、「関東・中部」、「西日本」、「九州」の全国4ブロックの代表11人が出席し、テレビ部門大賞、ラジオ部門大賞、最優秀新人賞が選ばれました。

テレビ部門大賞 日本テレビ 藤井 貴彦（ふじい たかひこ）アナウンサー

1994年入社。2010年4月にスタートした「news every.」のメインキャスターを務め、各局激戦の夕方ニュースの時間帯で視聴率トップを争う番組へと成長させ、「夕方の顔」として定着しています。

受賞について「今ふりかえてみて、2011年3月11日、テレビがここまで直接視聴者の方々に避難を呼びかけ続けた日は、歴史上なかったと思います。この2011年の大賞を受賞したことで、新たな責任を感じております」と語りました。日本テレビアナウンサーの大賞受賞は、第30回（2009年）の羽鳥慎一アナウンサー以来となります。



受賞した藤井アナウンサー（左）と日本テレビ・大久保好男 代表取締役 社長執行役員

ラジオ部門大賞 アール・エフ・ラジオ日本 小林 幸明 (こばやし よしあき) アナウンサー

1997年入社。年間30試合以上の野球実況を担当するほか、箱根駅伝、東京マラソンなどの国内屈指のロードレースや高校サッカーなどを実況。2時間半のワイド番組「くず哲也のコバヤシラジオ」のパーソナリティも担当しています。

ラジオ部門大賞について「嬉しい気持ちと同時に、大変な賞を頂いたと思っております。もっともっと表現力豊かなアナウンサーになりたい」と決意を新たにしていました。



受賞した小林アナウンサーとアール・エフ・ラジオ日本・新井修一郎 代表取締役社長

最優秀新人賞 福島中央テレビ 緒方 太郎 (おがた たろう) アナウンサー

2009年入社。1年目から記者職と兼務でスポーツを中心に取材。またテレビ新潟と連携した番組で温泉中継を担当し、汗をかきながらのレポートから「福島の手ぬぐい王子」としても親しまれています。

「今回の受賞は、誇りとして、プレッシャーとして、来年度もさらに仕事に邁進してまいりたいと思います」と新人らしく力強く抱負を語りました。



受賞した緒方アナウンサーと福島中央テレビ・村西敬生 代表取締役社長

特別賞 テレビ岩手アナウンサー、ミヤギテレビアナウンサー、福島中央テレビアナウンサー

今回、アナウンス大賞特別賞を、テレビ岩手、ミヤギテレビ、福島中央テレビのアナウンサー全員が受賞しました。東日本大震災の被災地から情報を発信し、テレビの可能性に挑戦し続けた各局のアナウンサーの、復興に向けての活動を後押しすべく設けられた賞です。



(左から) 特別賞を代表で受賞した福島中央テレビ・徳光雅英アナウンス部長、
テレビ岩手・柴柳二郎 報道制作局次長兼アナウンス部長、ミヤギテレビ・吾妻秀謙 報道制作局アナウンス部次長

また前回、第32回NNSアナウンス大賞の授賞式を中止したため、テレビ部門大賞のミヤギテレビ・伊藤拓アナウンサー、ラジオ部門大賞の山形放送・青山友紀アナウンサーへの花束贈呈も併せて行われました。

日本テレビ放送網株式会社 総務局 総合広報部